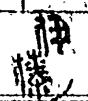


房官臣大		課局		大臣		件名		番領		受領		保存期限	
了結	領受	出提		昭	和	昭	和	昭	和	昭	和	昭	和
昭	和	昭	和	昭	和	昭	和	昭	和	昭	和	昭	和
年	月	日		年	月	日		年	月	日		年	月
十	五	六		十	五	六		十	五	六		十	五
日		日		日		日		日		日		日	
(裁決)行決		帶連		高級		參與官		書記官		審案		筆記者	
長局		長局		副官									
課		課		主務課員									
長		長											

政務次官 回付 決裁後(前)課名 陸海軍受第2941號 起元應(課)名 關東軍

二九八七



保存期限	決裁指定	局長 委任	決行指定	牛島
------	------	----------	------	----

房官臣大		課局務主		大臣		件名		受領番號		政務次官 回付 決裁前後連帶 課名 鏡化 衣糧	政務次官 回付 決裁前後連帶 課名 鏡化 衣糧
了結	領受	出提	領受	號番	局長	主務	次官	政務	次官		
昭和 年 十月六日	昭和 年 十月廿四日	昭和 九年 十月廿九日	昭和 年 月 日	軍事ノ第七七號	局長 代	局長	次官	政務	次官	滿洲國實業部大臣一行見學ニ關スル件	關東軍
(裁決)行決後		帶		局長		局長		局長		局長	
長局		長局		長課		長課		長課		長課	
參與官		參與官		參與官		參與官		參與官		參與官	
書記官		書記官		書記官		書記官		書記官		書記官	
筆記者		筆記者		筆記者		筆記者		筆記者		筆記者	

陸軍

副官ヨリ造兵廠總務部長、千住製紙所
長及糧秣本廠長へ通牒

日本文化産業施設視察ノ為メ来朝スキ別紙
滿洲國實業部長張燕卿氏一行ニ對シ來ル
（十月三十日午前東京車庫工廠ヲ、十一月十二日午前大阪
工廠）ヲ見學セシメラル、ニ付可然取討ハシ度依
命通牒ス

陸滿普第一五九七號

昭和九年拾月廿四日

注意

千住製紙所長へハ（一）内ヲ、十月三十日午後貴所ニ
糧秣本廠長へハ、十月三十日午前貴廠ニ作ル、

別紙

0352

實業部大臣訪日一行名簿

實業部大臣

張 燕 卿

隨員

實業部總務局長

高 橋 康 順 (主席隨員)

同 庶務科長

黒 岩 直 温 (庶務)

同 秘書科長

賀 岡 章 (秘書)

同 事 官 (秘書科)

索 藤 平 (庶務)

同 廳 官 (會計科)

千 川 清 吉 (會計)

右ノ外ニ産業觀察トシテ事務官莊開永ハ大臣訪日一行ト行動ヲ共ニ
シツツ出張ス

陸 軍

0353

(軍)

陸軍省 第二九四一號

電報譯 十月十五日 午前十一時五分發

次官 宛 發信者 陸軍省 參謀長

實業部大臣 張燕卿ハ總務司長 高橋
康順以下ヲ從ハ日本文化産業施設現
察ノ為十月廿三日 新京發約一ヶ月ノ豫
定ヲ以テ 豫日ニハ 便宜 宣 與ルヲシ度、行
動豫定別送ス

陸軍省 印

昭和 9.10.15 陸軍省 受取

陸軍省 9.10.15 711 陸軍省

第二號

軍用電報著信紙 0354

文	本	定指	受信氏名	所發
	ムヨニ		リクダシツカ	右ノ四ノ一
	ツゲウブ			三ノ四ノ一
	ダイジ			三ノ四ノ一
	ンテウエンケウワソウムシテウタカハシコウシ			三ノ四ノ一
	ウンイカ五			三ノ四ノ一
	(イ)メイヲシタガ			三ノ四ノ一
	ヘニホンブ			三ノ四ノ一
	ンカサンゲ			三ノ四ノ一
	ウシセツシサツノタメ			三ノ四ノ一
	一〇ツギニ三ビシ			三ノ四ノ一
	ンケウハツヤク			三ノ四ノ一
	一ケツキノヨテイヲモツテト			三ノ四ノ一
	ニチスルニツギベ			三ノ四ノ一
	ンギ			三ノ四ノ一
	アタヘラレタシ			三ノ四ノ一
	コウト			三ノ四ノ一
	ウヨテイベ			三ノ四ノ一
	ツセウス、カオス			三ノ四ノ一

陸軍省
9.10.15
電信取扱所

事記

陸軍省
9.10.15
電信取扱所

受信時間 三ノ四ノ一
無線着信番號

四〇〇
三六〇
三三〇
二八〇
二四〇
二〇〇
一六〇
一二〇
八〇
四〇

0355

衣糧

軍事

陸軍

陸軍 二九八七

絨第一〇七四號

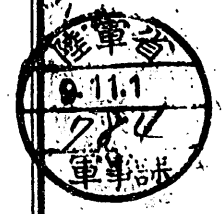
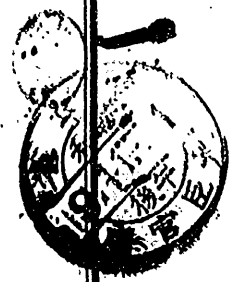
滿洲國實業部大臣參觀ニ關スル件報告

昭和九年十月卅一日

千住製絨所長心得 岡 本 信

陸軍大臣 林 銑 十 郎 殿

滿洲國實業部大臣一行六名昨三十日午後三時十分來所工場參觀
ノ後午後四時十五分退所セリ右報告ス



軍

9560

保存期限 三年 決裁指定 決行指定

大臣		事務		局		課		大官		房官	
參		局長		局長		局長		局長		局長	
參		主務課長		主務課長		主務課長		主務課長		主務課長	
參		主務課員		主務課員		主務課員		主務課員		主務課員	
參		高級副官		高級副官		高級副官		高級副官		高級副官	
參		書記官		書記官		書記官		書記官		書記官	
參		審案		審案		審案		審案		審案	
參		參與官		參與官		參與官		參與官		參與官	
參		參與官		參與官		參與官		參與官		參與官	
參		參與官		參與官		參與官		參與官		參與官	
參		參與官		參與官		參與官		參與官		參與官	
參		參與官		參與官		參與官		參與官		參與官	

滿洲國實業部長官（行視察）件

政務次官 回付 決裁前連帶 參與官

起元廳(課)名

決行(決裁)後 回覽課名

9.11.5. 統制課

關東省統制課

陸普 副官ヨリ海軍省副官へ

目下來朝中、滿洲國實業部大臣張燕卿一行來ル
十月十六日左記工場、視察希望申出有之タルニ付テハ
御差遣ニ奉範圍ニ於テ許可方御取計願度

左記

陸普第六八七五號

昭和九年十二月拾參日

一 株式会社神戸製鋼所

一 株式会社川崎造船所

副官ヨリ 株式会社神戸製鋼所社長永安晉次郎

株式会社 川崎造船所社長平生劍三郎へ通牒

目下來朝中、滿洲國實業部大臣張燕卿一行ニ對シ

來ル十月十六日貴社工場、視察方許可セラレシ付可然
御取計相成度依命及通牒條也

追テ見學事項ハ第三類ニ付申請候

注意、^但書ハ川崎造船所行ノミトス

覽書第六八七五號 昭和九年十月拾叁日

副官ヨリ兵器本廠長航空本部長へ通牒

滿洲國實業部大臣張燕卿一行ニ對シ來ル十月十六

日左記工場、視察方許可セラレシニ付依命通牒ス

左記

覽書第六八七五號 昭和九年十月拾叁日

(一) 株式会社 神戸製鋼所

(二) 株式会社 川崎造船所 (見學事項 第三類)

<p>陸 員</p>	<p>法意航空本部行 左記() (内) 前出 () ()</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>
------------	-------------------------------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------

0361

0360

保存期限

參政

三九八
三九四

連

1960

0960

保存期限	決裁指定		決行指定
------	------	--	------

政務次官
 參與官
 回付
 決裁
 前連帶
 後課名

大臣 	受番 陸滿善受第三九七號	件名 滿洲國實業部大臣一行見學日次変更ニ關スル件
局長 主務 	次官 高級 副官 	政務 次官 參與官
局長 主務 	主務副官 官房御用掛 	書記官
局長 主務 	主務課員 	筆記者
局長 主務 	主務課員 	審案
局長 主務 	主務課員 	審案

陸軍省
 9.11.9
 陸軍省
 陸軍省
 陸軍省

銃砲

關東軍

副官ヨリ告 兵廠總務部長ニ此通牒

十月二十四日陸滿普第一五九七號ヲ以テ通牒セシ

滿洲國實業部大臣張燕郷氏一行、大阪工廠

見送^{（附註）}十一月十三日午前ニ變更セラル付可然、取

計ハ一度依命通牒ス

第一六五四號 昭和九年十二月八日



8980

控

執行指定

決裁指定

保存期限

政務次官 同付 決裁(前)連帶 課名 鈴木 衣糧

執行(決裁)後 同覽 課名

受領 陸満普受第394一號

起元(課)名 關東軍

件名 滿洲國實業部大臣一行見學ニ關スル件

大臣

政務次官

參與官

書記官

審案 筆記者

次官

高級副官

主務副官 官房需用掛

主務局長

主務課長

主務課員

主務課員

作

務

前

古

大臣官房	主務局長	主務課長	主務課員
受領	提出	受領	提出
昭和	昭和	昭和	昭和
年	年	年	年
月	月	月	月
日	日	日	日
(決)行	(決)行	(決)行	(決)行
覽	覽	覽	覽
長	局	長	局

課長

課長

副官ヨリ造兵廠總務部長、千住製紙所
長及糧秣本廠長へ通牒

日本文化産業施設視察ノ為メ来朝スキ別紙
滿洲國實業部大臣張燕卿氏一行ニ對シ來ル
十月三十日午前東車工廠、十月十二日午前大阪
工廠ヲ見學セシメラル、ニ付可照取討ハレ度依
命通牒ス

注意

十月三十日

陸海軍 一五九七

千住製紙所長へハ()内ヲ十月三日午後貴所ニ
糧秣本廠長へハ十月三十日午前貴廠ニ作ル

實業部大臣訪日一行名簿

一 實業部大臣

張 燕 卿

二 隨員

實業部總務司長

高 橋 康 順 (主席隨員)

同 庶務科長

黒 岩 直 濫 (庶務)

同 秘書科長

賀 嗣 章 (秘書)

同 事 官

(秘書科)

索 樾 平 (庶務)

同 屬 官

(會計科)

千 川 清 吉 (會計)

右ノ外ニ産業視察トシテ事務官莊開永ハ大臣訪日一行ト行動ヲ共ニ
シツツ出張ス

陸 軍

實業部大臣訪日一行名簿

一 實業部大臣

張 燕 卿

二 隨員

實業部總務司長

高 橋 康 順 (主席隨員)

同 庶務科長

黒 岩 直 温 (庶務)

同 秘書科長

賀 岡 章 (秘書)

同 事 官

(秘書科)

索 巖 平 (庶務)

同 屬 官

(會計科)

千 川 清 吉 (會計)

右ノ外ニ産業視察トシテ事務官莊開永ハ大臣訪日一行ト行動ヲ共ニ
シツツ出張ス

陸 軍

○奉 滿普第二四九一號

(軍)

昭和九一〇一五

陸軍次官宛 関東軍參謀長

實業部大臣張燕卿ハ總務司長高橋康順以下
ヲ從ヘ日本文化産業施設視察ノ爲十月二十三日
新京發約一ヶ月ノ豫定ヲ以テ渡日スルニ付便宜與
ヘシ度行動豫定別送ス

一〇一五後一〇四〇番 (特)



							10	月
30	29	28	27	26	25	24	23	日
火	月	日	土	金	木	水	火	曜
				下		大	新	出
				關		連	京	發
			東	門			大	地
"	"	"	京	司			連	到
			"	汽	"	汽	汽	便
				車	"	船	車	乘
"	"	"	帝國ホテル	車	船	船	大	宿
				中	中	中	連	泊
								所
所	兵	武	府	各	多	明	宮	訪
廠	廠	藤	市	省	摩	治	城	間
自	自	元	廳	大	御	神	、	及
動	動	師	、	臣	所	宮	大	視
車	車	募	商	、	、	、	宮	察
會	會	參	工	參	各	各	家	行
社	社	、	會	謀	宮	宮	、	事
、	、	學	議	本	、	、	公	
千	千	習	所	部	公			
住	住	院						
製	製	、						
絨	絨	東						
		京						
		造						

實業部大臣訪日旅程

28/10 午前
31/10 午前
30/10 午後
12/11 午前
30/10 午後

訪問及視察行事						宮城、大宮御所、各富家、公使館	明治神宮、靖國神社	多摩御陵	各省大臣、參謀本部	府市廳、商工會議所	武蔵元師墓參、學習院、東京造兵廠、自動車會社、千住製絨所
---------	--	--	--	--	--	-----------------	-----------	------	-----------	-----------	------------------------------

28/10 午前九時 千住製絨所
 31/10 午前 櫻井
 30/10 午後 千住製絨所
 12/11 午前 大宮工廠
 30/10 午前 大宮工廠

千住製絨所
 櫻井
 大宮工廠
 大宮工廠

6980

								11	
9	8	7	6	5	4	3	2	1	31
金	木	水	火	月	日	土	金	木	水
	名古屋	静岡 岡	東京		箱根	東京			
"	京都	名古屋 屋岡	"	"	東京	箱根	"	"	東京
	汽車	汽車			汽車	汽車			
"	京都ホテル	萬平ホテル	"	"	帝國ホテル	富士屋ホテル	"	"	帝國ホテル
山	桃山御陵、平安神宮、御所、二條 離宮、府、市廳、商工會議所、嵐	熱田神宮、航空機會社	清水豐年製油工場	出發準備	自由行動	箱根觀光		電氣會社、日滿關係諸協會	糧秣廠、取引所、市場、紡績會社、

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	
火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	
奉 天 新 京		釜 山	下 關 釜 山	八 幡 下 關	宮 島 下 關	廣 島 宮 島	神 戶 大 阪			京 都 大 阪	
"	"	汽 車	汽 船	"	"	"	"	"	"	汽 車	
"	"	車 中	東 萊 旅 館	"	山 陽 ホテル	宮 島 ホテル		"	"	甲 子 園 ホテル	
				製 鐵 會 社		嚴 島 神 社	湊 川 神 社、 縣 市 廳、 商 工 會 議 所、 川 崎 造 船 所、 神 戶 製 鋼 所	大 阪 工 廠、 商 品 陳 列 所、 取 引 所、 著 名 工 場、 神 社 佛 閣	慰 問、 大 朝、 大 毎、 中 央 市 場	風 水 害 復 興 視 察、 罹 災 者 收 容 所	師 團 司 令 部、 府 市 廳、 商 工 會 議 所、 造 幣 局

實業部大臣訪日一行名簿

一、 實業部大臣

張 燕 卿

二、 隨 員

實業部總務司長

高 橋 康 順 (主席隨員)

同 庶務科長

黒 岩 直 温 (庶務)

同 秘書科長

賀 嗣 章 (秘書)

同 事務官 (秘書科)

索 樾 平 (庶務)

同 屬 官 (會計科)

千 川 清 吉 (會計)

右ノ外ニ産業視察トシテ事務官莊開永ハ大臣訪日一行ト行動ヲ共
ニシツツ出張ス

局長
橋本

0323



關參滿第一一六號

滿洲帝國實業部大臣訪日旅程送付ノ件

昭和九年十月十五日

關東軍參謀長

西尾

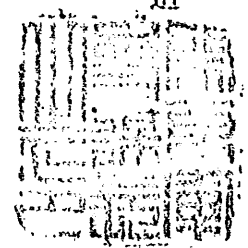
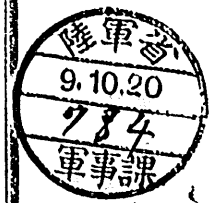
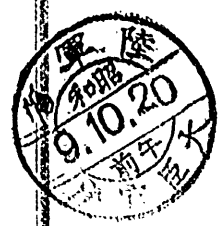
壽

造

陸軍次官 橋本 虎之助 殿

首題 關シ別紙ノ通送付ス

二九八七



陸軍

0374

							10	月
30	29	28	27	26	25	24	23	日
火	月	日	土	金	木	水	火	曜
				下		大	新	出
				關		連	京	發
			東	門			大	地
			京	司			連	到
				汽		汽	汽	着
				車		船	車	地
			帝	車	船	船	大	便
			國	中	中	中	連	乘
			家					宿
			ヲ					泊
			ル					所
			所					訪
			宮					問
			城					及
			、					視
			大					察
			宮					行
			御					事
			所					
			、					
			各					
			宮					
			家					
			使					
			館					
			明					
			治					
			神					
			宮					
			、					
			靖					
			國					
			神					
			社					
			多					
			摩					
			御					
			陵					
			各					
			省					
			大					
			臣					
			、					
			參					
			謀					
			本					
			部					
			府					
			市					
			總					
			、					
			商					
			工					
			會					
			議					
			所					
			武					
			藏					
			元					
			師					
			墓					
			參					
			、					
			學					
			習					
			院					
			、					
			東					
			京					
			世					
			所					
			兵					
			庫					
			、					
			自					
			動					
			車					
			會					
			社					
			、					
			千					
			付					
			、					
			製					
			絨					
			所					

實業部大臣訪日旅程

0325

大正
二
〇
二
年
八月
十日

9	8	7	6	5	4	3	2	1	31
金	木	水	火	月	日	土	金	木	水
	名古屋	静岡 東京			箱根	東京			
.	京都	名古屋 静岡	.	.	東京	箱根	.	.	東京
	.	汽車			汽車	汽車			
.	京都ホテル	萬平ホテル	.	.	帝國ホテル	富士屋ホテル	.	.	帝國ホテル
所、嵐山	二條離宮、府、市、商工會議所、桃山御陵、平安神宮、御所	清水豐年製油工場	出發準備	自由行動		箱根觀光	日滿關係諸協會	紡績會社、電氣會社	糧秣廠、取引所、市場

實業部大臣訪日一行名簿

一、實業部大臣

張 燕 卿

二、隨 員

實業部總務司長

高 橋 康 順 (主席隨員)

同 庶務科長

黒 岩 直 温 (庶務)

同 秘書科長

賀 關 章 (秘書)

同 專務官 (秘書科)

索 樹 平 (庶務)

同 屬 官 (會計科)

千 川 清 吉 (會計)

右ノ外ニ産業視察トシテ事務官莊開永ハ大臣訪日一行ト

行動ヲ共ニシツツ出張ス

實業部大臣訪日旅程

							10	月
30	29	28	27	26	25	24	23	日
火	月	日	土	金	木	水	火	曜
				下		大	新	出發地
			東京	關		運	京	到着地
				門			大	便乘
				司		汽	汽	宿泊所
			帝國	汽		船	車	
			家	車	船	船	大	
			予	中	中	中	運	
			ル					訪問及視察行踪
所	武藤元師墓、學習院、東京造	兵廠、自動車會社、千住製絨	府市廳、商工會議所	各省大臣、參謀本部	多摩御陵	明治神宮、靖國神社	公使館	宮城、大宮御所、各宮家

9	8	7	6	5	4	3	2	1	31
金	木	水	火	月	日	土	金	木	水
	名古屋	東京 静岡			箱根	東京			
.	京都	静岡 名古屋	.	.	東京	箱根	.	.	東京
	.	汽車			汽車	汽車			
.	京都ホテル	萬平ホテル	.	.	帝國ホテル	富士屋ホテル	.	.	帝國ホテル
所、嵐山	熱田神宮、航空機會社	清水豐年製油工場	出發準備	自由行動		箱根觀光	日滿關係諸協會	紡績會社、電氣會社	糧秣廠、取引所、市場
桃山御陵、平安神宮、御所 二條離宮、府、市廳、商工會議									

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10
火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土
奉		釜	下	八	宮	廣	神			京
天		山	關	幡	島	島	戶			都
新	奉		釜	下	下	宮	廣	神		大
京	天		山	關	關	島	島	戶		阪
		汽	汽							汽
		車	船							車
		車	東		山	宮				甲
		中	萊		陽	島				子
			旅		水	氷				園
			館		ガ	子				本
			中		ル	ル				ガ
				製		殿	深	大	風	師
				鐵		島	川	阪	水	團
				會		神	崎	工	害	師
				社		社	造	廠	復	令
							船	、	興	部
							所	、	視	、
							、	造	察	府
							神	兵	、	市
							戶	局	罹	廳
							製		災	
							鋼		者	
							所		收	
									容	
									所	

實業部大臣訪日一行名簿

一、實業部大臣

張 燕 卿

二、隨 員

實業部總務司長

高 橋 康 順 (主席隨員)

同 庶務科長

黒 岩 直 温 (庶務)

同 秘書科長

賀 岡 章 (秘書)

同 庶務官 (秘書科)

索 越 平 (庶務)

同 屬 官 (會計科)

千 川 清 吉 (會計)

右ノ外ニ産業視察トシテ事務官莊開水ハ大臣訪日一行ト

行動ヲ共ニシツツ出張ス

30	29	28	27	26	25	24	23	10	月日
火	月	日	土	金	木	水	火	新	曜日
				下		大	新		出發地
			東京	關		連	京		到着地
				門			大		便乘
				司		汽	連		宿治所
				汽		船	汽		訪問及視察行幕
			帝國	車	船	船	大		
			學	中	中	中	連		
所	武藏元師墓、學習院、東京造	兵廠、自動車會社、千住製絨	府市廳、商工會議所	各省大臣、參謀本部	多摩御陵	明治神宮、靖國神社	公使館	宮城、大宮御所、各宮家	

實業部大臣訪日旅程

9	8	7	6	5	4	3	2	1	31
金	木	水	火	月	日	土	金	木	水
	名古屋	東 京 靜 岡			箱根	東 京			
.	京都	靜 岡 名 古 屋	,	,	東 京	箱 根	,	,	東 京
	,	汽 車			汽 車	汽 車			
.	京都ホテル	萬平ホテル	,	,	帝國ホテル	富士屋ホテル	,	,	帝國ホテル
所、嵐山	熱田神宮、航空機會社	清水豐年製油工場	出發準備	自由行動		箱根觀光	日滿關係諸協會	紡績會社、電氣會社	糧秣廠、取引所、市場
	桃山御陵、平安神宮、御所 二條離宮、府、市廳、商工會 所、嵐山								

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10
火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土
奉 天		釜 山	下 關	八下 幡關	宮 島	廣 島	神大 戶阪			京 都
新 京	奉 天		釜 山	八下 幡關	下 關	廣 島	神 戶			大 阪
		汽 車	汽 船							汽 車
		車 中	東 萊 旅 館		山 陽 ホ テ ル	宮 島 ホ テ ル				甲 子 園 ホ テ ル
				製 鐵 會 社		嚴 島 神 社	深 川 神 社、 縣 市 廳、 商 工 會 議 所、 取 引 所 川 崎 造 船 所、 神 戶 製 鐵 所	大 阪 工 廠、 商 品 陳 列 所、 著 名 工 場、 神 社 佛 閣	風 水 害 復 興 視 察、 罹 災 者 收 容 所 慰 問、 大 朝、 大 毎、 中 央 市 場	師 團 師 令 部、 府 市 廳 商 工 會 議 所、 造 兵 局

實業部大臣訪日一行名簿

一、實業部大臣

張 燕 卿

二、隨 員

實業部總務司長

高 橋 康 順 (主席隨員)

同 庶務科長

黒 岩 直 温 (庶 務)

同 秘書科長

賀 關 章 (秘 書)

同 事務官 (秘書科)

索 棧 平 (庶 務)

同 關 官 (會計科)

千 川 清 吉 (會 計)

右ノ外ニ産業視察トシテ事務官莊開水ハ大臣訪日一行ト
行動ヲ共ニシツツ出張ス

11					10	月
1	31	30	29	28	27	日
木	水	火	月	日	土	曜
工經日東京 業濟滿京 俱聯實商 樂盟業工 部會協會 議所	10 陸軍糧秣廠參觀	10 十條火工廠(陸軍)	首相及各大臣訪問	明治神宮 靖國神社	宮大宮御所 宮内省、公使館	午 前
外務省招宴					帝國ホテル	午 餐
日東電 華亞氣 實同會 業文社 協會	紡績會社參觀	230 千住製絨所參觀	各大臣及市府廳訪問	多摩御陵	各官家	午 后
中央滿蒙協會 阪谷男爵招宴 午後六時於丸ノ内中央亭	訪滿實業家有志招宴	淺野良三招宴午後六時於紫雲閣(淺野宅)	午後五時鏡泊學園助成會南大將招宴於紅葉館 午後八時鮮銀東拓招宴	大倉組門野重九郎招宴 午後六時於紅葉館	滿洲洋灰股份有限公司招宴	晚 餐

張實業部大臣訪日日程 (東京滞在期間中)

8	7	6	5	4	3	2
木	水	火	月	日	土	金
	取引所參觀	市營市場參觀	參 内		箱 根	學 習院訪 問 男子部
	東洋協會招宴	總理大臣招宴		學習院教職員及 同窓會招宴		東亞同文會招宴 於霞山會館
觀菊御宴			自動車會社			武藏元帥墓參
	對外同志會招宴 石光中將 筵		東京商工會議所、日滿實 業協會經濟聯盟工業俱樂部 日華實業協會招宴	王子製紙株式會社招宴		陸軍大臣招宴 平尾贊平招宴

秘

滿洲國實業部大臣張燕卿氏一行見學ニ關スル件報告

陸造秘第六一七號

滿洲國實業部大臣一行見學ニ關スル件報告

昭和九年十一月二十四日

陸軍造兵廠長官 植村東彦

陸軍大臣 林銑十郎殿

十月二十四日附陸滿普第一五九七號通牒ニ依ル滿洲國實業部大臣張燕卿氏一行火工廠及大阪工廠見學ニ關スル件左記ノ通報告ス

左記

一 火 工 廠

ノ見學一般ノ景況

滿洲國實業部大臣張燕卿氏外五名、陸軍省軍事課増田大尉
行十月三十日午前十時來廠工廠長代理榎田大佐ヨリ工廠ノ沿革、編成ノ大要及一般作業ノ概要ヲ説明アリ午前十一時退廠
セリ

2. 見學ノ場所 十條兵器製造所

陸軍省 9.11.26 午前六時

陸軍省 9.11.26 軍事課

陸軍省 9.11.26 第257號 陸軍

陸軍省 造兵廠長官

8880

2941

杉本大佐案内ノ許ニ信管、壓延、彈丸藥莖、填藥ノ順序ニ各工場ノ概況ヲ見學セリ

3. 見學間研究又ハ質疑應答事項

問 實包原料ト内地資源トノ關係

答 銅以外ハ内地資源ニテ不足ナリ

問 職工ノ給與方式竝收入

答 製造高ニ依ル請負、常備トノ二種ニシテ一箇月收入男六

六圓 五〇 女三九圓 八〇ナリ

⇒ 大阪工廠

ノ見學一般ノ景況

滿洲國實業部大臣張燕卿氏外六名ハ十月十三日午後二時大阪ホテルヨリ來廠本部應接室ニテ少憩工廠長代理大塚大佐工廠ノ概要ヲ説明シ同十分工廠長代理ノ案内ニテ左記順序ニ依リ見學シ二時五十分本部ニ歸着少憩シ三時過満足裡ニ退廠シ造幣局ニ向ヘリ

2. 見學場所

(一) 火砲製造所 第四鑛工場、第五鑛鑪工場、第七鑛工場、生産品引渡場、第八鑛工場

(二) 鐵材製造所 搾出工場、第一鍛工場、第一製鋼場、第四鑛工場
(三) 彈丸製造所 第一火具検査場、第三鑛工場、第二鑛工場、第二調質場、塗工場、第一鑛工場

3. 見學間質疑應答事項

火砲製造所（鐵材、彈丸製造所ナシ）

問 十五加（四五式十五加改造固定式ノ意味）ハ何處ニ使用スルヤ

答 陸地戰ニモ海岸ニモ使用ス

問 加農砲ハ如何ナル處ニ使用スルヤ

答 平射カ目的テアル例ヘハ海岸ニ使用スルモノナレハ軍艦ノ舷側ヲ射撃スルヤウニ

問 歩兵砲ハ如何ナル處ニ使用スルヤ

答 歩兵ノ第一線ニ使用シ直接歩兵ニ損害ヲ與フル敵ノ機關銃其
ノ他ノ破壞^{破壊}ニ使用スル

其ノ他ノ參考事項

火工廠ニ於テハ日滿國旗ヲ掲ケ接待ニ遺憾ナカラシメタル爲其ノ
好感ヲ大ニ感謝セリ又大阪工廠ニ於テハ日程ノ關係上殆ト素通り
的ニ見學セシ爲サシタル質問應答モナク單ニ縱覽的ニ終始シタル
モ大臣以下眞面目ナル態度ニテ熱心ニ見學シ頗ル満足ノ意ヲ表シ
居タリ

以
上